



# 2021年 丑年 誠実に 堅実に 一步一步

発行人: 弥富市議会議員 佐藤仁志 (市民目線の初心を忘れず)  
行政経験を活かして、弥富市政を長期的な視点で向上させます

ニュースレター  
2021.1.15 No.3

## 議会活動報告 弥富市議会 12月議会には2件の請願書が出されました。

### 請願第1号 弥富市議会に「市議会正常化」を求める請願書について

賛成の立場で述べました。(要旨)

議会の調査力・対話力・共生力の正常化が必要です。少数意見を排除せず多くの意見を取り入れ市民に問い、修正を繰り返すことが民主主義的な態度であり、現実的な改善の繰り返しが必要です。請願は議会が生まれかわる糧になります。

・請願は採択されました。



請願第1号  
動画のQRコード

### 請願第2号 JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業に関する請願書について

紹介議員として、賛成の立場で趣旨説明及び意見を述べました。

(請願の趣旨) 弥富市が事業主体である事業方式と計画は、市の負担があまりに大きいので、鉄道事業者が主体となるバリアフリー化に絞った計画へ見直すこと、駅の北側に改札口を設けることなどを議会で議論することを求めました。

(賛成意見) 財源は潤沢ではありません。市民の交通や災害時の命の安全のために優先的に使うべきです。市民はまちづくりや市政に参加を求めています。今焦る必要はありません。市民の声を聞き十分議論することが必要です。

・残念ながら請願は不採択でした。



請願第2号・委員会  
動画のQRコード



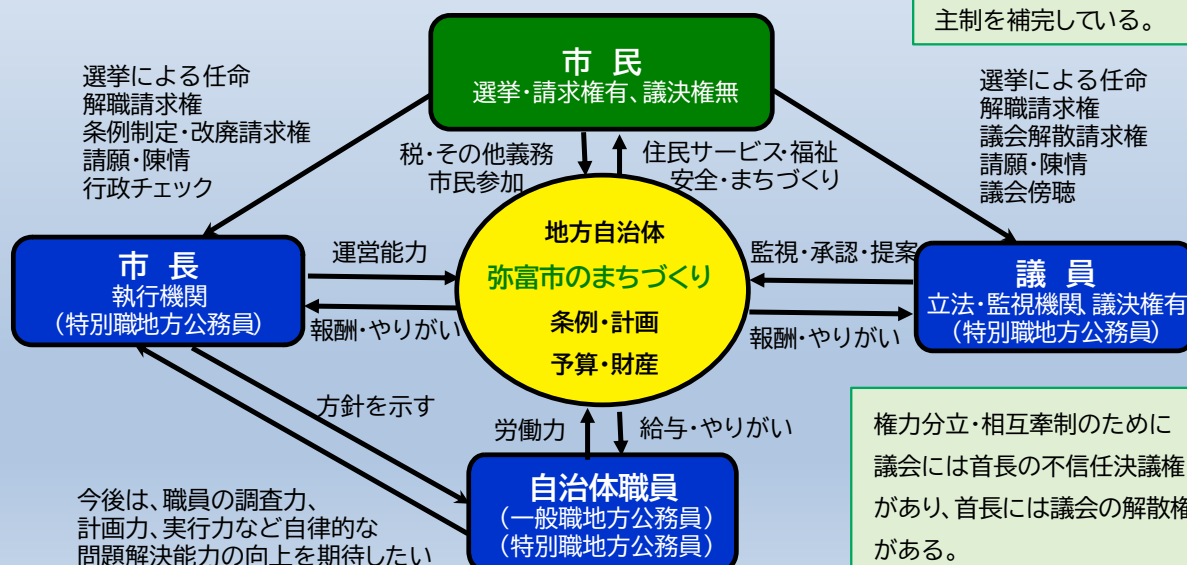
請願第2号・本会議  
動画のQRコード

## みなさんの生活実感や思いを、弥富市のまちづくりに反映させましょう

行政と市民活動は、社会貢献や「やりがい」をベースとしていて相性が良い。

地方自治体(地方公共団体)の役割  
議員・市長・自治体職員が相互に協力、補完、チェックしあい、市民に対して、生活を守りサービス等を提供する。

日本国憲法 第21条は集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由を保障し、間接民主制を補完している。



# コロナ禍を機に公共事業はリセットして 確実な施策を

12月の弥富市議会的一般質問では、財政面から公共施設の持続可能性と、行政組織の問題解決能力の向上などについて質問しました。

弥富市議会一般質問 動画はこちらからぜひご覧ください→



QRコード

**ここが問題!**

## 独立採算のはずの下水道事業が財政を大きく圧迫

下水道建設費のほとんどは国が援助し、市の負担はごくわずかという想定で着手しましたが、実際は市の一般会計から毎年数億円を使っています。完成後の維持管理と設備更新にも毎年数億円が必要となり、他の事業を圧迫しています。

## 総合計画は財源の裏付け無し

今後10年間で公共施設に137億円、下水道に72億円、道路等に33億円など合計400億円超の総合計画ですが、財政的な裏付けは示されていません。財源に見通しの無い借金は大きな負担です。市民にとって本当に今やるべき事業かどうか、JR・名鉄弥富駅事業など大型事業を見直す必要があります。

## 補助金頼みでなく、市民の参加で駅周辺や中心市街地の整備計画を

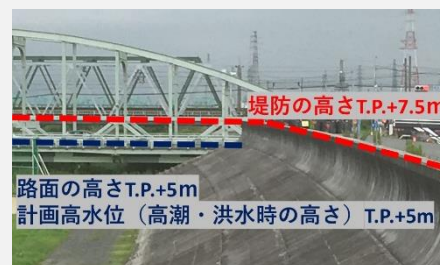
国の補助金を貰うために計画を膨らましてもいい時代は終わりました。駅周辺・中心市街地整備には、地域の事情に合わせて市民の声をしっかり聞いて、市役所と議会と市民が話し合っていくことが大切です。(写真は現在のJR弥富駅)



## 尾張大橋の架け替えを促進する研究会設置を

尾張大橋が低く未整備のため、高潮や津波で浸水の恐れがあります。国道1号尾張大橋の架け替えに関係する機関に呼びかけて計画を促進するように研究会の設置を弥富市に提案しましたが、設置について考えがないとのこと。国が着手するのを待つのではなく地元住民として架け替えについて積極的に行動していくべきです。

(写真は木曾川堤防が尾張大橋の部分で低くなっている様子)



## 市民のみなさんのご意見をお待ちしています

市民活動をベースに、行政との関係をとirimottu仲介者・通訳者となります。市役所が、自ら市民の声を聞き、自律的に問題解決をする組織となるよう支援していきます。

発行人: 弥富市議会議員 佐藤仁志 愛知県弥富市五之三町福島 46 番地

携帯電話: 090-6073-2413 気軽にお電話ください

E-mail: mail@satohitoshi.info

佐藤仁志のホームページもご覧ください <https://satohitoshi.info>



QRコード